

(案)

「子どものいじめ防止対策」に関する市民意見募集実施要領

1 募集期間

平成25年3月1日(金)～3月31日(日)

2 意見募集内容

別紙チラシ(案)のとおり

3 配布場所

- (1) 各区役所
- (2) 各地区センター及び各コミュニティハウス
- (3) 市民情報センター
- (4) 議会局

※横浜市会ホームページにも意見募集内容を掲載します。

※別途、市立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校及び青少年関係団体にもチラシを送付します。

※チラシの内容を要約した簡易チラシを作成し、議会局にて配布します。

4 意見の提出方法

- (1) 郵送又は持参
- (2) ファクシミリ
- (3) 電子メール
- (4) 横浜市会ホームページからの応募

※(1)～(3)については、意見及び提出者の属性が記入されていれば、様式は問わないこととします。

5 その他

- (1) 電話や来庁による口頭での意見の申し出については受け付けないこととします。
- (2) 意見に対する個別の回答は行わないこととします。

応募方法 次のいずれかの方法で提出してください。

※電話や来庁による口頭のご意見はお受けできません。また、いただいたご意見に対する個別の回答はいたしません。

①郵送又は持参 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 横浜市会議会局議事課

※下記封筒を切り取ってご利用ください。(切手不要。3月31日消印有効)

持参の場合は開庁日(土・日・祝日)の受付はできませんのでご注意ください。

②ファクシミリ 045-681-7388 ※前頁の回答欄をご利用ください。件名は「市民意見募集」としてください。

③電子メール gi-giji@city.yokohama.jp ※件名を「市民意見募集」とし、設問へのご意見等をメール本文に記載してください。

④横浜市会ホームページからの応募 <http://www.city.yokohama.lg.jp/shikai/>(横浜市会トップページ)

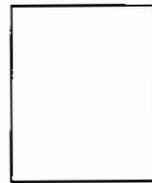
いじめ防止対策に関する
ご意見を募集しています

のバナーをクリック

問い合わせ先

横浜市会議会局議事課 TEL:045-671-3045

のりしろ



231-0017

横浜市中区港町1-1

横浜市会議会局議事課
「いじめ防止対策」意見募集

担当 行

のりしろ

のりしろ

(案) **横浜市会こども青少年・教育委員会**
子どもの

いじめ防止対策について 皆様のご意見を募集します!

〔募集期間〕 平成25年3月1日(金)から3月31日(日)まで

〔応募方法〕 ホームページからの投稿、電子メールなど

(最終ページの「応募方法」をご覧ください)

.....
昨今、子ども社会におけるいじめ問題は深刻化しており、いじめにより身体的・精神的に深い傷を負った子どもが自殺に追い込まれるケースなど、悲しいニュースが後を絶ちません。

横浜市会こども青少年・教育委員会では、「いじめは絶対に許されない」という認識のもと、社会全体でいじめ根絶の実現に向け取り組み、子どもたちが安心して豊かに暮らせる環境をつくることを目指して、子どものいじめ防止に関する条例を提案すべく検討を進めています。

いま現在いじめで苦しんでいる子どもを救うために、また、新たないじめ被害を生じさせないためにも、市民の皆様のご意見をふまえて、よりよい条例を提案していきたいと考えています。

想定される条例の内容

<目的・基本理念等>

- 子どもの健全育成
- いじめのない社会の実現
- 社会全体でいじめに取り組む
- いじめを許さない子ども社会の実現

<定義>

“いじめ”とは、

「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」



いじめ問題と人権教育

2013年2月20日

認定NPO法人神奈川子ども未来ファンド理事長 青木和雄

○多感な中学生時代に横浜大空襲を体験し、命の尊さを思い知らされた。教育の原点は未来を生きる命を育むことであると思う。

○相談から見たいじめの現状

○子どもの叫び

・ありのままの存在を認めてほしい。安心できる居場所がほしい。辛さを想像してほしい。

○いじめの背景にあるもの

- ・学校が閉鎖的空間となっていないか（多様性を認めない硬直した教育現場）。
- ・成績至上主義が大人の保身となり、教職員のゆとりのなさにも繋がる。
- ・コミュニケーションスキルの不足（聴く力、話す力、想像する力）

○いじめとの向き合い方

- ・いじめ側の児童・生徒への対応
卑劣な行為は許さないという毅然たる姿勢で臨む。
自己肯定感をもてるような導きを。
- ・いじめられた側の児童・生徒への対応
傷つけられたプライドの回復。
訴えられる環境づくりを。
- ・無関心、傍観している児童・生徒への対応
互いの痛みを想像する人間教育を重視し、声をあげる勇気を育む。

○対応策として

- ・ネットワークの強化
担任とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、児童支援（生徒指導）専任教諭等との協働と逃げ場の確保（保健室養護教諭の複数配置）。
- ・心に傷を負った児童・生徒のサポート。心的外傷後遺症（不登校、ひきこもり、就労困難など）となるケースが多いので、丁寧なケアが必要。
- ・外部関係諸機関との連携
地域のNPOと連携し、子どもたちの悩み、迷いを受け止める場を。
様々な人たち（乳幼児・障害のある人・高齢者など）との直接交流の場の設定。
- ・教職員の研修の強化

プロフィール



教育カウンセラー 青木 和雄 あおき かずお

1930年、横浜生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。専攻は心理学。

横浜市立小学校教員、教育研究所研究員（ロールシャッハテストによる非行化の早期発見の研究）、横浜市教育委員会指導主事、同和教育担当課長、横浜市立小学校校長、横浜市教育センター教育相談員、同市教育委員会スクールスーパーバイザー、法務省人権擁護委員、神奈川県子ども的人権専門委員長、保護司などを経て、現在は、教育カウンセラー、神奈川県子ども未来ファンド理事長、社会福祉法人白百合会理事、保土ヶ谷区社会福祉協議会副会長などに携わる。

■教育カウンセラー／小学生や中学生からは、いじめや親との関わり、心の葛藤などの相談が多い。親や祖父母からは、子どもの不登校や依存症、学校との対応の仕方などの相談が多く寄せられている。

■障害者地域作業所「ダンボ」運営委員／「福祉を考える会」幹事／障害者の自立支援や子どもたちのサポートなど、地域での福祉活動を実践。

■認定NPO法人 神奈川県子ども未来ファンド理事長／子どもの育つ地域環境を市民の手で整えようと活動している。地域の中で、子ども・若者・子育て支援に関わるNPOを、広く市民・団体・企業の寄付を募り助成する全国初の民間基金。2007年4月1日に神奈川県内2件目の国税庁認定NPOとなる。

■青木和雄・吉富多美の共著作品として

「ハートボイス いつか翔べる日」「ハッピーバースデー」「ハードル」「ハードル2」「HELP! キレる子どもたちの心の叫び」「イソップ」などがある。「ハートボイス いつか翔べる日」は、1996年度子どもの選ぶ本ベスト1として、宇都宮子ども賞を受賞。親の虐待を乗り越え強く生きる少女を描いた「ハッピーバースデー」は、児童書、文芸書併せて150万部を記録するベストセラーとなり、テレビや新聞などで広く紹介された。1999年に「ハッピーバースデー」、2004年に「ハードル」がアニメーション映画となり、全国で自主上映中。

ハングズ to ハングズ

認定NPO法人
神奈川子ども未来ファンド

「あなたの思いを、届けます。」
みなさまからの寄付を
神奈川県内の子どもや若者の
生きる力を育むNPO活動へ
届け、活かします

第 32 号

皆様の思いを神奈川の子どもたちに ～2012年助成対象団体決定

昨年度も多くの皆様から総額約500万円のご寄付をお寄せいただきました。本当にありがとうございました。神奈川子ども未来ファンドでは、選考委員会の公正な選考を経て、皆様の温かいお心を子ども・若者や子育てに関わる非営利活動団体へ「助成金」として届けています。2012年は、9つの団体への助成が決まりました。

選考を終えて

今期も「神奈川子ども未来ファンド」にご協力をいただいた皆さまに心から御礼申し上げます。おかげさまで貴重な浄財を、団体・企業・個人の方々から賜り、ご支援いただきました。また県内各地より20件を超えるご応募があり、特に本年度は例年の対象事業に加え、先年の東日本大震災で被災した子ども・若者を支援するプログラムに対しましても支援をさせていただきました。

選考委員会におきましては、助成選考基準に則り、公正に議論を致しましたが、どの事業も「子どもたちが生きていることに誇りと喜びを持てる」もので、選考は困難を極めました。その中で、それぞれの選考委員が一つひとつの事業について真剣に討議し、対象事業を選ばせていただきました。今回誠に残念ながらご期待に添えなかった応募者の皆さまにおかれましては事情をお汲み取りいただき、ぜひ次回またご応募賜りますようお願い申し上げます。

ご支援、ご協力いただいた皆さまに今後とも本事業に格別なご高配をいただき、益々より多くの事業が助成団体となりますことをお願い申し上げます。選考委員会のご報告とさせていただきます。

2012年助成選考委員会 委員長 宮林 雄彦

2012年助成選考委員

- 委員長 宮林 雄彦氏 (大光院代表役員住職)
副委員長 渡辺 誠二氏 (一般社団法人ロータリーの友事務所所長)
委員 新井 聡子氏 (横浜弁護士会子どもの権利委員会委員)
伊藤 輝子氏 (元鶴見大学短期大学部教授)
富樫 匡孝氏 (自立生活サポートセンター・もやいスタッフ)



神奈川子ども未来ファンド2012年 助成対象団体 助成総額 2,980,000円

- 1 音楽療法 ぐるーぷ響** (継続助成) <厚木>
事業名…音楽療法のための楽器と楽譜購入
助成金額…300,000円 ● 障がい児支援
- 2 (社福)杜の会** (継続助成) <横浜>
事業名…児童養護施設「杜の郷」算数教室及び個別支援家庭教師事業と「ふれあい塾」
助成金額…200,000円 ● 児童養護施設の学習支援
- 3 学童保育スキップ麗沼保護者会** (継続助成) <川崎>
事業名…地域向けオープンプログラム事業
助成金額…100,000円 ● 学童保育
- 4 (特)ピアわらべ** (継続助成) <横浜>
事業名…法人事務局の強化
助成金額…400,000円 ● 子育て支援
- 5 キララの教室** <横浜>
事業名…外国人(籍)児童生徒への学習支援事業
助成金額…180,000円 ● 外国人(籍)児童・生徒への支援
- 6 TIE トマトマの会** <茅ヶ崎>
事業名…トマトマ教室運営 —外国につながる子ども達のための補習教室—
助成金額…300,000円 ● 外国人(籍)生徒への支援
- 7 スマイル オブ キッズ** <横浜>
事業名…病児のきょうだい児預かり保育
助成金額…800,000円 ● 患者家族支援
- 8 (特)のむぎ地域教育文化センター** <横浜>
事業名…“若者が打つ和太鼓”震災支援
助成金額…400,000円 ● 震災支援
- 9 守りたい・子ども未来プロジェクト実行委員会** <横浜>
事業名…守りたい・こども未来プロジェクト
助成金額…300,000円 ● 震災支援

助成贈呈式・報告会へお出かけください。

- 日時 2012年5月27日(日) 13:00~16:00
場所 横浜市青少年育成センター(関内ホール地下)
(JR・地下鉄「関内駅」徒歩7分 ほか)

内容 2012年助成対象団体紹介・贈呈式
2011年助成活動報告

* 無料、事前申込不要です。どなたでもご参加ください。

2012年助成選考について

神奈川県子ども未来ファンド助成は、県内で子ども、若者や子育てに関わる人が地域の中で育ちあう「場」を自立的に運営するNPOの活動へ助成をしています。

今回は従来までの「一般助成」に加え、東日本大震災で被害を受けた子ども・若者を支援するための事業全般を支援する「震災支援助成」を新たに設けました。応募総数は、昨年を上回る24件（一般助成は新規応募が9件、継続応募が5件。震災支援は10件）、応募総額は、15,598,000円（前年比1,548,000円増）でした。応募団体の所在地については、横浜市が11件と最も多かったものの、相模原、茅ヶ崎など県内10市からの応募がありました。

活動分野は、子育て支援、在日外国籍児童支援、障がい児支援、不登校・ひきこもり支援のほか多岐にわたっており、今回初めて病児のきょうだい支援に関する応募もありました。また震災支援に関しては、神奈川で生活し始めた子ども達への支援が4件、被災地へ出向いての支援が6件でした。

助成対象事業については、当該事業を実施することにより活動の充実や拡大が期待できることを重視するとともに、その手法や成果がモデルとなり、他の団体、他の地域にもよい影響や変化を生み出すことが期待される、新たな取り組みを優先的に選考しています。また震災支援は目的や対象が明確で、被災地との息の長い連携が期待できるものに助成を行うこととしました。

2012年 助成対象団体

講評

2012年助成選考委員より
各助成対象団体へ講評をいただきました。

● 障がい児支援

継続

音楽療法 ぐるーぷ響

事業名 音楽療法のための楽器と楽譜購入

助成金額 30万円

応募事業概要 発達障害児を対象とした多様な形態での音楽療法

【講評】 昨年一年で参加者の数が増え、活動が広がりを見せていること、素晴らしいことと思う。しかし、参加者が増えることで支出が一時的に増えていく現在の財務体質では、活動が定着していくことが困難であると考えざるを得ない。2012年度の取り組みで、この点を改善していけることを強く期待している。

● 児童養護施設の学習支援

継続

(社福) 杜の会

事業名 児童養護施設「杜の郷」算数教室及び個別支援家庭教師事業と「ふれあい塾」

助成金額 20万円

応募事業概要 児童養護施設児童及び要支援家庭児童への学習指導及び生活支援

【講評】 児童養護施設の子どもたちへの個別的学習支援は、恵まれない境遇にあった子どもたちの今後の人生を変えうる貴重な活動であり、頑張っている子どもたちにエールを送りたい。今後は、より地域との連携を強くし、賛同者を増やして、さらに充実した継続的活動となることを期待したい。

● 学童保育

継続

学童保育スキップ鷺沼保護者会

事業名 地域向けオープンプログラム事業

助成金額 10万円

応募事業概要 会員確保と地域との連携強化のための、親子参加型地域開放講座の実施

【講評】 昨年は子どもファンド助成を使用してスキップ鷺沼の保護者、親子向け企画が保護者の相互理解や子ども理解、学童運営への求心力を増したと思われる。今年度は安定した会員確保、地域貢献として親子参加型オープンプログラムを開催予定とのことであるが、企画内容の吟味と実行力が求められよう。また同時に上記の目的達成には「保育の質」の向上も欠かせないと思う。

● 子育て支援

継続

(特) ピアわらべ

事業名 法人事務局の強化

助成金額 40万円

応募事業概要 「子育て応援隊ピアンド」の事業化
及び支援者の育成

【講評】 子育て環境が厳しさを増す中、親子ひろばや一時保育事業を通して、子育てを支援してきた実績のある団体である。今年度は、さらにきめ細かな支援をしていくため、これまで支援の手が届きにくかった地域の親子に届ける支援を実現したいという目標に賛同し、3度目の助成を決定した。支援者を育成し、地域との協力体制を作ることで、この活動が地域に根差した継続的活動となることを期待したい。

● 外国人(籍)児童・生徒支援

キララの教室

事業名 外国人(籍)児童生徒への学習支援事業

助成金額 18万円

応募事業概要 外国人(籍)の小・中学生への個別学習
支援及び保護者への支援

【講評】 横浜市の外国人(籍)児童生徒への教育支援体制は十分とはいえない状況にある。そこに手を差し伸べて学習意欲につながる国語力を高めたり、地域社会に溶け込むための個別支援活動に、敬意と共にエールを送りたい。地元大学のサークルや同様の目標を持つ団体との連携は今後も大事なポイントとなる。児童生徒の募集は、多様に行うことで光を求めている子どもに応えることになると考える。

● 外国人(籍)生徒支援

TIE トマトマの会

事業名 トマトマ教室運営—外国につながる
子ども達のための補習教室—

助成金額 30万円

応募事業概要 外国につながる中・高校生への日本語
及び受験を含めた教科サポート

【講評】 自分の意思で今ここ(日本)に住んでいるわけではない中高生の気持ちを受け入れ、学習支援をしている会である。1997年発足から口コミで広がり、その時々必要なことを提供して現在に至っている。そこに学習者に寄り添い続けた会の歴史を読み取ることができる。学習者とOBの交流の場(居場所)としての役割も果たしており貴重である。今後はこのような居場所が他の地域にも広がることを期待したい。

● 病児のきょうだい支援

(特) スマイルオブキッズ

事業名 病児のきょうだい児預かり保育

助成金額 80万円

応募事業概要 県立こども医療センターに通・入院
する子どものきょうだい児の支援

【講評】 難病児等の兄妹は、通院・入院などの際、医療機関において保護者からのケアが不十分になりがちである。長期に亘りこのような状態が続くが、成長期のトラブルを起こし易いと言われている。そこで、難病児支援を目指す当団体が、拠点病院や地域との連携の中で、支援の視野をその兄妹に広げつつ、子どもは誰でも愛される権利を持つこと、社会全体で子どもたちの成長支援に関わることの重要性を周知しつつ兄妹保育へと活動を拡大していることは評価できる。地域社会に訴えつつ財政基盤充実を確保する方策が急がれる。

● 震災被災者支援

(特) のむぎ地域教育文化センター

事業名 “若者が打つ和太鼓”震災支援

助成金額 40万円

応募事業概要 被災地での和太鼓の演奏と交流

【講評】 これまでの長きに渡る多方面での活動実績にまず敬意を表したい。「のむぎ」に集う、生きにくさを抱える若者達が被災地を訪れることには、震災支援にありがちな「被災地を一方向的に支援する」という形ではない、相互作用が見込める計画だと思われる。継続的なよい縁が生まれる契機になることを、期待している。

● 震災被災者支援

守りたい・子ども未来プロジェクト実行委員会

事業名 守りたい・子ども未来プロジェクト

助成金額 30万円

応募事業概要 県内に避難している子どもを抱えた
家族の交流、相談

【講評】 より困難さが予測される避難してきた子どもたち、これから避難を考えている子どもたちに寄り添おうという姿勢が明確である。また、県内それぞれの領域で活動する団体が実行委員会を形成すると共に、多様な社会的資源の提供が期待される。避難家族は生活困窮や自殺など、時系列に沿って多様な課題に襲われると考えられ、賛同団体の自己完結型活動に陥らず、広く多様な社会的資源の開発との連携も視野に入れ、継続的・重層的な活動が実践されることを期待する。

2011年 助成のご報告 (2011年4月～2012年3月)

● 子どものシェルター

(特) 子どもセンターてんぽ ； 居場所のない子どもの電話相談事業

【活動報告】 10代後半の子ども達に関する電話相談は、通年月・水・金の13～17時に行い、年間164件の相談がありました。子ども本人からの相談は42件で、相談対象者の性別は、女子101件、男子53件、不明10件でした。また対象者の年齢は、多い順に、①18歳64件、②17歳21件、③19歳18件でした。電話相談の結果、関係機関や相談者に対するアドバイスを行ったり、子ども本人と会って詳しい事情を聞いた上で、親権者等との調整や生活保護申請への同行などの支援を行ったケースもありました。



● 子育て支援

(特) ひだまりの森 ； 「ひだまりの森 子育て期の相談」環境再整備事業



【活動報告】 公的受託事業の相談事業廃止後、とにかく相談を継続してほしいとの要望を受け、共同オフィスで電話1回線での再出発をしたのですが、電話が繋がりにくい等問題が山積していました。助成をいただいたおかげで相談室の環境整備ができ、電話回線を2回線にし、1300件を超えるまでに相談件数も増加。新人研修や他団体支援者を交えての研修も13回実施し、スキルアップと連携を図ることができました。孤立した方からの相談が増え、身近な相談のニーズを改めて感じています。

● 子育て支援

(特) ピアわらべ ； 法人事務局の拡充

【活動報告】 2011年10月、横浜市認定家庭的保育室ピアピアを開所。「地域の中で子どもが育つこと」を大切にしています。就労家庭の支援が出来るようになったことで支援の幅が広がりました。また、「ほどがや人、町、文化振興会」に出会い、行政、市民活動団体、企業などと連携し、多世代交流の場の提供を行いました。異業種、多世代とのつながりが持てた成果は大きく、地域のニーズにこうしたつながりを生かし、2012年度の新規事業「子育て応援隊ピアンド」で応えていきたいと思っています。



ご寄付をお願いします。

子ども・若者や子育てに関わるNPOを通じて子どもたちを支えます

■ 寄付金お振込先

ゆうちょ銀行	00290-5-61718 神奈川子ども未来ファンド
中央労働金庫	横浜支店 普通1159830 NPO法人神奈川子ども未来ファンド
* 横浜信用金庫	本店営業部 普通682741 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド
* 川崎信用金庫	本店営業部 普通1045173 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド
* 横浜銀行	関内支店 普通1153803 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

* 川崎信用金庫・横浜信用金庫・横浜銀行では、窓口でのお振込に限り振込手数料が免除されます。

会員として子どもの今と未来を支えてください



携帯からのご入会(クレジットカード決済)

会員種別	正会員 (NPO法人の役員)	準会員	子ども応援会員
目的	神奈川子ども未来ファンドの目的に賛同し活動・事業に参画する会員	神奈川子ども未来ファンドの目的に賛同し、ファンドを支える会員	子ども・若者の育ちや子育てを継続して応援する会員
議決権	有	なし	なし
対象	個人のみ	個人・NPO・法人	個人・NPO・法人
入会金	2,000円	なし	なし
年会費	1口 10,000円	年払 1口 3,000円	年払 1口 5,000円 個人NPO法人 1口~/法人NPO法人 4口~ 月々払 月々1口 500円 (郵便口座から自動払込)

* 子ども応援会員と準会員の年会費は、税制優遇の対象になります。

● 外国籍児童の学習支援

エスコラ アクアレラ ブラジル | エスコラ アクアレラ ブラジル さくら教室



【活動報告】 外国籍児童への学習支援を中心にプログラムを組み、前年同様、日本の小学校入学へのプレスクール教室を主たる活動として開始。支援者を増員し、日本語支援と情操教育を合わせたサポートを目指しました。しかし、東日本大震災の影響で母国に家族と帰国する子どもが多く、期当初のプレスクール対象児童は6人でした。その後、活動場所の責任者不在等の諸事情により、残念ながら12月末をもって活動を停止せざるを得ない状況になりました。

● 障がい児支援

音楽療法 ぐるーぷ響 | 音楽療法のための環境整備

【活動報告】 発達に心配のある子どもへの集団音楽療法と指導者と1対1の個別療法を実施しました。集団療法ではCDに合わせたリズム打ち、体操、ヨガ、指先の訓練、机上課題などバランスよくプログラムを組み立てて行いました。個別療法では集団ではできない個々へのきめ細かい内容で、音楽を楽しみながら、非言語のコミュニケーションや社会性スキルを身につけることができました。子どもたちが、ただ楽しい時間を過ごすだけでなく、日常生活の中でも自信を持って過ごせるよう、手を差し伸べて導くことができましたと思います。



● 学童保育

学童保育スキップ鷺沼保護者会 | 自主学童保育パワーアップ事業



【活動報告】 保護者あるいは親子で知識を身につける事で、より質の高い子育てができるよう、コミュニケーション講座やマナー講座などを行いました。この結果、保護者同士がお互いを知り合う機会となり、情報交換や協力しあえる関係ができ、学童での活動もスムーズになりました。また、講座を通して親子のコミュニケーションが深まり、実用的な講座では、すぐに子育てに活かせる知識を得る事が出来たとの感想も寄せられました。

● 児童養護施設の学習支援

(社福) 杜の会 | 児童養護施設「杜の郷」算数教室及び個別支援家庭教師事業

【活動報告】 児童養護施設の子供達の課題としてあげられる「学習」。杜の郷では算数教室と、学習ボランティアという二本立てで、子ども達に学習支援を実施しています。地域社会で「生きる力」を育てたいという思いから、学習は暗記ではなく、「考える」ことに重点を置いて行っています。それぞれの子どものペースはあるものの、着実に「話を聴く」、「集中する」、「自ら取り組む」という力が育ち、学校の成績表にも嬉しい変化が見え始めています。



----- ご寄付は所得税・法人税・個人住民税の控除を受けられます。 -----

神奈川県子ども未来ファンドにいただくご寄付(会費は、正会員以外の会費が対象)は、認定NPO法人への寄付として、寄付金控除等の優遇が受けられます。

神奈川県、横浜市の個人住民税も控除対象となっています。税制優遇の手続きや条件については、子どもファンドホームページ(<http://www.kodomofund.com>)をご覧ください。

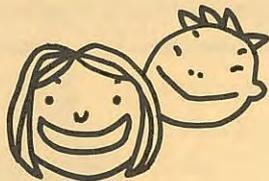
● 認定NPO法人とは、その運営組織および事業活動が適正であること、また公益の増進に資することについて、収入に占める寄付金の割合が高いなど一定の要件を満たすものとして、国税庁長官が認定したNPO法人です。

ありがとうございます。

寄付協力をいただいた方々（敬称略順不同）
2011年10月1日～2012年3月31日

(株)川口
コカ・コーラセントラルジャパン(株)
タカナシ乳業(株)
(株)サイバー創研
日産自動車(株)
横浜マリノス(株)
(株)tvkコミュニケーションズ
(株)ヤフー
横浜農業協同組合
(株)ダッドウェイ
横浜市人権擁護委員会
(株)ポンパドウル
中央労働金庫 横浜支店
横浜市市民文化会館関内ホール
神奈川県高等学校教職員組合

ご協力ありがとう
ございます



横浜ロータリークラブ/キーコーヒー(株)/(株)京急百貨店/タカナシ
フード(株)/(有)フクソー洋品店/イオンリテール(株)/モトスミ・
プレーメン通り商店街振興組合/ツルミ印刷(株)/神奈川県教職員
組合/全労済神奈川県本部/全水道関東地方本部神奈川県支部/
横浜労働者福祉協議会/しらとり保育園/横浜市子ども家庭課有志

井田みすぎ子ども会育成会/「芽が出るプロジェクト」安田早苗/
ダンボふれあいバザー実行委員会/ヨコハマ Wai Waiフェスタ実行
委員会/篠原中学校学校支援地域本部/不登校・ひきこもり居場所
あすなる/(特)びーのびーの/N.U. Presents ヨコハマアコフェス

<募金箱・マイバック持参寄付>

横浜アンパンマン子どもミュージアム/グリルダイニングロスレ/
ジャラトフィレンツェ(以上横浜市西区)/横浜かをり/横浜松坂屋
サンプル・デ・かをり/横浜市庁舎第三食堂(以上横浜市中区)/
津多家横浜西口本店・横浜鶴屋町店(横浜市神奈川区)/デリー
ヤマザキ仲町台店(横浜市都筑区)/(株)まるき/P&Cすぎはら(横浜市
鶴見区)/エルム・オリオン書房(横浜市栄区)/伊藤クリーニング/富士見庵/
徳植履物店/谷口商会/レディースミント/小山文具店/ヤジマ文具店/
フレッシュマーケットわたべ/八百春/尾原精肉店/成川薬局/お茶の
ヤマキチ/三和クリーニング/三吉野/大野屋/カクハチ堂(以上川崎市
中原区)/高津宮前飲食業連合会/居酒屋茂々/(株)久地ガーデンかまど
本店/蔵健/新宿丸正溝ノ路店/翁亭/レストランユニオン/ご馳走
居酒屋たまい本店/牛炭屋(以上川崎市高津区)/ビッグエコー平塚西口店
(平塚市)/ビッグエコー茅ヶ崎店(茅ヶ崎市)/ウイング(東京都渋谷区)

相原健彦/赤崎玉枝/秋田悠太/朝倉進/朝比奈暁/足立暢子/安達浩/
阿比留聡子/網代和枝/青木和雄/岩上慶子/飯野ヒサエ/池松浩子/
井上敏孝/井村統子/岩田充功/岩田真佐子/植野孝子/内田清三/梅村敏幸/
江成卓史/及川勝子/大井安治/大内貴絵/オハマサユキ/澤節子/太田千寿枝/
太田善朗/太田敏子/大塚智雄/岡田博子/岡野富茂子/岡安莉紗/小野哲/
小野昭典/金子いずみ/鎌田松栄/川島弘/川島敏子/川中美知代/河原大悟/
岸本幸子/木部豊/久住剛/栗原伸太/桑原茂/鯉淵信也/古賀房代/
小島三枝子/小林寿美子/小林亜矢子/小林則夫/小林弘子/小山健一/
斎田順一/齋藤真子/齋藤ひろみ/酒井敦子/阪口さゆみ/坂田清一/
桜井陽子/佐々木晴修/樋田いずみ/鹿田裕子/嶋田繁/清水香織/清水孝教/
下藤由希恵/庄司和子/菅原陽子/菅原敏夫/須賀七美/鈴木健一/高久直之/
高島さち子/高取安史/高橋葉子/高濱賢治/竹沢佐知子/竹沢喜代子/
武田光雄/武山俊彦/田鶴由紀乃/田中勉・美智子/田村友梨/田村佳代/
田母神小夜子/丹直秀/張アイリン/築山絵里/徳丸のり子/豊島俊/
中川直子/中川智仁/中島亜紀子/中谷晋太郎/中村訓世/夏見直貴/
新嶋大樹/西嶋純一/錦織千恵子/西村暁弘/西村奈歩/長谷川智尋/
濱田恵美/原ともみ/原田直子/東田信子/樋口圭/細野由美子/
堀真一郎/松本和子/三浦壽子/水野美智子/武藤啓司/村田真/村田尚子/
村松俊幸/望月邦/望月達也/安彦志津枝/八原佳子/山片静代/山口麻津子/
山中洋子/山中幸子/横山弘美/古川良美/吉田朋美/吉富多美/吉原健吾/
吉弘初枝/渡辺誠二

神奈川県子ども未来ファンド 「第16回横浜弁護士会人権賞」受賞

神奈川県内を主な活動地域として、すぐれた人権擁護活動を行っている団体・個人に送られるこの賞。個々のNPOを支援する民間の非営利基金(中間支援組織)として初めての受賞でした。皆様のご支援のおかげと、心から感謝しております。



遺贈・相続のしくみに関する調査研究

2011年度神奈川県子ども未来ファンドでは、NPOへの新たな寄付のしくみの一つとして、「遺贈・相続のしくみに関する調査研究」を行い、報告書をまとめました。この研究会は今後も継続して行っていく予定です。興味のある方は、事務局までご連絡下さい。

朗読劇 ハッピーバースデー

2012横須賀公演決定

毎年、児童虐待防止月間に行っているチャリティ朗読劇。今年は横須賀で開催します。今から予定を入れておいて下さいね。

日時 2012年11月10日(土)
13:00 / 17:00

会場 横須賀文化会館大ホール
(横須賀中央駅下車徒歩7分)

ホームページ

<http://yokosuka-supportcenter.jp/ntl/?cat=18>



ハンズ@ハンズ 第32号 発行：2012年5月10日

認定NPO法人 神奈川県子ども未来ファンド

〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1
横浜ワールドポーターズ6F NPOスクエア内

TEL: 045-212-5825 / FAX: 050-3737-1810

e-mail: info@kodomofund.com

URL: <http://www.kodomofund.com>

ブログ: <http://blog.canpan.info/kodomofund/>

ツイッター: <http://twitter.com/kodomofund>



●神奈川県子ども未来ファンド助成プログラム

助成対象団体に対しては、運営支援も行い、寄付の投資効果を高めています。

助成した年	助成総額	助成団体数	応募総額	応募団体数
2004年助成	1,650,000円	6団体	8,020,900円	26団体
2005年助成	2,000,000円	8団体	3,102,000円	15団体
2006年助成	2,385,000円	6団体	5,098,500円	12団体
2007年助成	2,244,000円	6団体	5,988,400円	14団体
2008年助成	3,500,000円	7団体	10,156,000円	17団体
2009年助成	4,500,000円	9団体	14,457,000円	21団体
2010年助成	4,500,000円	8団体	12,215,000円	18団体
2011年助成	2,820,000円	7団体	14,050,000円	20団体
2012年助成	2,980,000円	9団体	15,598,000円	24団体
計	26,579,000円	延66団体	88,685,800円	延167団体

<2012年までの助成対象団体 (10～80万円を助成)>

	活動分野	地域	団体名	助成年度
1	児童虐待(2団体)	伊勢原	(特)子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク	2004
2		横浜	(特)子どもセンターてんぼ	2009～2011
3	児童養護施設(1団体)	横浜	(社福)杜の会	2011～2012
4	DV被害児(2団体)	西湘	ウエスト神奈川女性の人権を守る会	2005～2006, 2008～2010
5		川崎	カラカサン～移住女性のためのエンパワメントセンター	2006～2007, 2010
6		川崎	(特)ままとんきっず	2004～2006
7	乳幼児親子支援(5団体)	横浜	(特)びーのびーの	2004～2005
8		横浜	(特)まんま	2006, 2009
9		横浜	(特)ひだまりの森	2010～2011
10		横浜	(特)ピアわらべ	2010～2012
11	冒険遊び場(1団体)	横浜	片倉うさぎ山公園遊び場管理運営委員会	2004～2005, 2008～2010
12	障がい児(5団体)	横浜	(特)楠の木学園	2004～2005
13		横浜	子どもネット・コスモス	2009
14		横浜	(特)苗場つぼみの会	2008
15		横浜	(特)くじらぐも	2008～2009
16		厚木	音楽療法 ぐるーぷ響	2011～2012
17	不登校(3団体)	横須賀	ボランティアグループ未来	2005
18		横浜	(特)シャロックホームズ	2009
19		横浜	(特)ふぁみりーさぼーとのあ	2010
20	就労支援(1団体)	横須賀	(特)アンガージュマン・よこすか	2008～2009
21	青少年活動(2団体)	鎌倉	かながわユースボランティアリングファクトリー	2004
22		横浜	(特)Ethnic JAPAN	2005
23	学童保育(2団体)	横浜	ことぶき学童保育	2006～2008
24		川崎	学童保育スキップ鷺沼保護者会	2011～2012
25		外国人児童(7団体)	横浜	(特)在日外国人教育生活相談センター信愛塾
26	大和		教育支援グループ『Ed. ベンチャー』	2008
27	厚木		エスコラ・アクアレラ・ブラジル	2010～2011
28	横浜		(特)地球学校	2009
29	大和		渋谷きんりん未来の会	2007
30	横浜		キララの教室	2012
31	茅ヶ崎		TIE トマトマの会	2012
32	環境教育(2団体)	鎌倉	鎌倉中央公園を育てる市民の会	2005, 2007
33		横浜	茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会	2006～2007
34	病児きょうだい支援(1団体)	横浜	スマイル オブ キッズ	2012
35	震災支援(2団体)	横浜	(特)のむぎ教育文化センター	2012
36		横浜	守りたい・こども未来プロジェクト	2012

地元企業経営者、学識者、NPO運営の専門家、弁護士等、5～6名の選考委員によって助成先を選考

<2012年までの助成選考委員長 (肩書は就任当時)>

篠崎孝子氏(㈱有隣堂相談役・神奈川県公安委員会委員)/岩宮陽子氏(㈱師一代表取締役社長)/鈴木一男氏(㈱ダイイチ代表取締役社長)/神田捷夫氏(㈱京急百貨店相談役)/竹下宏之氏(神奈川日産自動車㈱前会長)/渡邊宣昭氏(横浜植木㈱代表取締役社長)/宮林雄彦氏(浄土宗大光院代表役員住職)

神奈川の子どもたちのこと……
「神奈川子ども未来ファンド」とともに
私たちも考えています。

私たちも応援しています。

神奈川県知事/横浜市長/横須賀市長/相模原市長
横浜F・マリノス/横浜DeNAベイスターズ
ゆずー北川悠仁/岩沢厚治(ミュージシャン)
N.U.一庭瀬幸一郎/宇田晋也(ミュージシャン)
石井琢磨(広島東洋カープコーチ)
三浦大輔/村田修一(プロ野球選手)
篠崎孝子(山手学院中・高等学校理事)
柴田愛子(保育者・絵本作家)/浅田弘幸(漫画家)
野村道子(声優、オフィス・デュオ代表)



歌手N.U.のお二人と吉富多美さん

神奈川県教職員組合
神奈川県高等学校教職員組合
川崎市職員労働組合/中央労働金庫
(株)川口/日産自動車(株)/(株)京急百貨店
タカナシ乳業(株)/エバラ食品工業(株)
(株)ポンパドウル/(株)ありあけ
神奈川県タクシー協会/横浜ロータリークラブ
モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合
ほか多数の企業や市民のみなさまから
ご支援をいただいています。



子育て支援グループ「ピアわらべ」の子どもたち

みなさまのご支援により、
9年間で延66団体、
総額2,658万円の助成を行いました。

(特) 子どもセンターてんぼ

虐待等で居場所のない子どもたちへの
シェルターにおける電話相談活動に

カラカサン

外国につながる思春期の子どもたちの
学習・表現活動に

そのほかさまざまな団体に助成しています。



あなたの思いを、届けます

認定NPO法人

神奈川子ども未来ファンド

理事長 青木 和雄

〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1

横浜ワールドポーターズ6F NPOスクエア内

FAX ● 050-3737-1810

e-mail ● info@kodomofund.com

URL ● www.kodomofund.com

☎ 045-212-5825

●寄付金お振込先 インターネット寄付は左記のURLから

郵便振替口座 00290-5-61718

神奈川子ども未来ファンド

中央労働金庫 横浜支店 普通1159830

NPO法人神奈川子ども未来ファンド

横浜信用金庫 本店営業部 普通682741

特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

川崎信用金庫 本店営業部 普通1045173

特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

横浜銀行 関内支店 普通1153803

特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

※ご寄付は最大50%の税額控除が受けられます。

私たちも神奈川子ども未来ファンドを応援しています。

神奈川の
子どもたちのこと、
ちょっと考えちゃみませんか？

あなたの子ども、
あなたのまわりの子どもが
神奈川でいきいきと
育っていけるように……。
あなたの力を貸してください。



神奈川の子どもたちのこと……
他人ごとではられない問題です。

子どもの未来は地域の未来。
その思いを
「神奈川子ども未来ファンド」に。

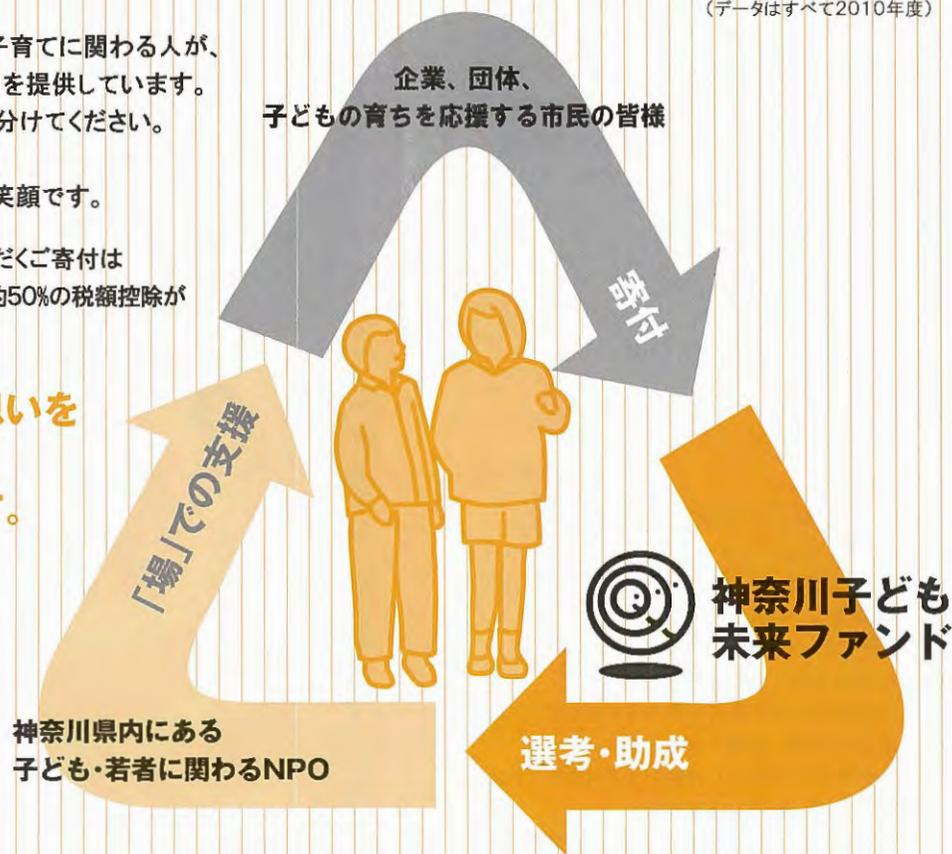
神奈川子ども未来ファンドは
2002年にスタートした非営利の市民基金です。

みなさんから寄せられるご寄付を、
子ども、若者、子育てを支援するNPO
(非営利の市民活動団体)に助成しています。

私たちが支えるNPOは、
悩みを抱えている子ども、若者、子育てに関わる人が、
安心して、自分らしく過ごせる「場」を提供しています。
私たちの活動に、あなたの思いを分けてください。
小額から気軽にぜひ「投資」を！
「投資」のリターンは子どもたちの笑顔です。

※神奈川子ども未来ファンドにいただくご寄付は
認定NPO法人への寄付として、最大約50%の税額控除が
受けられます。

私たちはみなさんの思いを
県内のNPOに届ける
お手伝いをしています。



ご存じですか？
神奈川の子どもたちは
今、悲鳴を上げています。

神奈川県では1年間に…
公立小中学校の不登校生は 9,802人
(中学校では、約27人に1人)
24歳以下の自死者数は137人
(5日に2人自死しています)
また、神奈川県内の児童相談所に寄せられた
虐待相談件数は7,466件
(5年間で2倍に上っています)
(データはすべて2010年度)

神奈川子ども未来ファンドに「投資」してください。

私も
神奈川子ども
未来ファンドを
応援しています。



吉富 多美

『Happy Easter』(金の星社刊) 共著者

毎年の助成報告会をととても楽しみにしている。神奈川には多様なNPOが多数存在し、社会の漏れや歪みを補っているのだと実感する日でもある。

女性の人権を守る活動をしているNPO団体は、助成金を1日2時間の子どもボランティアの件数等に充てている。DV被害者の母親と共に保護施設にいる子どもたちは、身を隠すようにして日々を送っているとのこと。「ボランティアさんと遊ぶようになって、子どもたちの表情がとても穏やかになった」という。

話し相手や遊び友だち。泥んこ、小川、カエルやバッタ。見守る大人の言葉や背中…。子どもの育ちに必要なヒミツのビタミンが活動報告にはたくさん含まれている。

ふと、陽だまりを思った。つらいことや悲しいことがあっても、近くに陽だまりがあって心を温めることができれば、子どもたちはなんとか生きていけるのではないだろうか。

そう思うと、気合が入る。陽だまりのひとかけらの光になれるように、今年も寄付を続けようと思えてくる。



母と子の心の叫びを描いた150万部のベストセラー「Happy Easter」が、人気声優陣による朗読劇に。横浜・相模原・川崎・横須賀とステージを重ね、深い共感と呼んでいきます。収益は神奈川子ども未来ファンドに。

応募方法 次のいずれかの方法で提出してください。

※電話や来庁による口頭のご意見はお受けできません。また、いただいたご意見に対する個別の回答はいたしません。

①郵送又は持参 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 横浜市会議会局議事課

※下記封筒を切り取ってご利用ください。(切手不要。3月31日消印有効)
持参の場合は閉庁日(土・日・祝日)の受付はできませんのでご注意ください。

②ファクシミリ 045-681-7388 ※前頁の回答欄をご利用ください。件名は「市民意見募集」としてください。

③電子メール gi-giji@city.yokohama.jp ※件名を「市民意見募集」とし、設問へのご意見等をメール本文に記載してください。

④横浜市会ホームページからの応募 <http://www.city.yokohama.lg.jp/shikai/>(横浜市会トップページ)

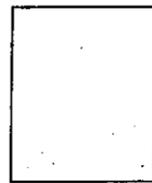
いじめ防止対策に関する
ご意見を募集しています

のバナーをクリック

問い合わせ先

横浜市会議会局議事課 TEL:045-671-3045

のりしろ



231-0017

横浜市中区港町1-1

横浜市会議会局議事課
「いじめ防止対策」意見募集

担当 行

のりしろ

子どもの

(案)

横浜市会こども青少年・教育委員会

条例制定

いじめ防止対策について

皆様のご意見を募集します!

〔募集期間〕 平成25年3月1日(金)から3月31日(日)まで

〔応募方法〕 ホームページからの投稿、電子メールなど

(最終ページの「応募方法」をご覧ください)

昨今、子ども社会におけるいじめ問題は深刻化しており、いじめにより身体的・精神的に深い傷を負った子どもが自殺に追い込まれるケースなど、悲しいニュースが後を絶ちません。

解決
横浜市会こども青少年・教育委員会では、「いじめは絶対に許されない」という認識のもと、社会全体でいじめ根絶の実現に向け取り組み、子どもたちが安心して豊かに暮らせる環境をつくることを目指して、子どものいじめ防止に関する条例を提案すべく検討を進めています。

いま現在いじめで苦しんでいる子どもを救うために、また、新たないじめ被害を生じさせないためにも、市民の皆様のご意見をふまえて、よりよい条例を提案していきたいと考えています。

想定される条例の内容

<目的・基本理念等>

- ~~子どもの健全育成~~ ~~子どもの命、心身を守り救~~
- いじめのない社会の実現
- 社会全体でいじめに取り組む
- ~~いじめを許さない子ども社会の実現~~

<定義>

“いじめ”とは、

「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」とあり、人権侵害と暴力とある。



